

平成二十五年 造幣局桜の通り抜け

俳句入選句

辻田 克巳 選

特
選

(三句)

「おたっしやで」花見終りし老人会

大阪府堺市

中島 学

【評】

来年の桜は年寄のいわば、共通語。お達者で
に妙に実感が籠もる。花見の後の老の哀愁を
この上五が救っている。一抹の笑いも絶妙だ。

1

咲き満ちて身じろぎもせぬ桜かな

大阪府大阪市

岡本 輝王

【評】

風なき満開の桜は方しくこうなる。いかにも
熟成の重みを感じるが、とりわけ中七の擬人的
発見語がぴしやりと決まってイメージ鮮明。

通り抜け投句用紙も花の色

兵庫県芦屋市

中谷 明子

【評】 「通り抜け」の季語性は確かに問題だが、

下の「花」がこれを補うように思える所が妙。

投句用紙のピンク色が一切の趣を伝えていい。

入
選

(五句)

着物きて御一行様花見船

大阪府大阪市

藤田 千恵子

満開の花のはざまの昼の月

大阪府大阪市

富田 かづ

行く人に花見御膳をのぞかるる

兵庫県神戸市

出店 智恵呼

姫様の手まりのような八重ざくら

兵庫県西宮市

白井 泰子

通り抜け後期高令有難や

大阪府大阪市

太田 開

佳作

(二五句)

手をひかれ歩く老婆や花の下

大阪府大阪市

細川 紫雲

外つ国の言葉も数多通り抜け

大阪府大阪市

田代 慎一

かく数多花人となる浪速人

大阪府大阪市

井上 恵美子

通り抜け三ヶ国語のアナウンス

大阪府八尾市

喜多 繁子

淀殿と思ふ桜のありにけり

栃木県足利市

倉林 しづ江

触れてみて盲目の人花を嗅ぐ

大阪府大阪市

吉川 こしず

桜見に源八橋を渡りけり

大阪府大阪市

鎌田 満寿治

通り抜け残花に人の集まりぬ

兵庫県宝塚市

土井 純子

花見船船尾の小さき廁かな

大阪府大阪市

濱上 幸男

くろがねの門に瓦斯燈八重桜

大阪府寝屋川市

数藤 茂

ひとところ揺れて鳥影朝ざくら

兵庫県西宮市

松林 和生

人だかり今年の花は天の川

茨城県那珂市

松井 節子

造幣の碑囲む八重桜

大阪府大阪市

大鹿 正男

通り抜け名前に魅かれ花に寄る

岡山県勝田郡

岡
実来

園児らの指さす楊貴妃桜かな

奈良県奈良市

慈
雲

花筏浮子にふれつつ流れけり

大阪府大阪市

中村
誠之

八重桜十二単衣と競いあふ

大阪府枚方市

高野
昌代

迷い子はお婆ちゃんです花の昼

大阪府大阪市

村田
照枝

灯ともしてどこか妖しき夜の桜

大阪府大阪市

山田
天

抱っこされ稚はじめての花の道

大阪府枚方市

佐藤
絃子

乳飲子を抱いて花見の子守唄

静岡県焼津市

西川
正二

雀らと朝日をわかつ八重桜

兵庫県川西市

辻本 孝子

今生の桜浄土に入り浸る

大阪府松原市

青山 久米雄

鳥たちて花びら舞いぬ通り抜け

大阪府寝屋川市

大西 孝雄

手を振れば笑顔で返す花見船

大阪府大阪市

渡辺 伝三

選者吟

辻田 克巳

八重桜花翳も濃く八重をなす

遅桜人が来てまた手に裏む

造幣の門花冷に鎖し合はす

造幣の百年篤き八重桜

落花地をからから紙のごとく駛す